



三学期始業式

新年あけましておめでとうございます。1月5日(金)3学期始業式を行い、気持ちを新たに3学期をスタートしました。

<学校長式辞より>

今日から3学期が始まり、年が明け初めての登校となった皆さんを獅子頭とおみくじが出迎えてくれました。また、迎春の力強い毛筆も掲示され、新春にふさわしい雰囲気です。準備してくれた新執行部の皆さんありがとうございました。

3学期は次年度の「〇学期」に位置付けられると共に、今年度の成長を次年度につなぐ「発展期」と言われる学期です。充実した「〇学期」「発展期」にするために、また、大切な1年のスタートにあたり、私から皆さんに意識してほしいことを1つお話しします。それは「志」を大切にすることです。志には大きく2つの意味があります。一つは目、心に思い定めた目的や目標を目指すという意味です。漢字の上の部分「士」は、進んでいく足の形を変形させたもので、その下に「心」をつけて、気持ちの動く方、すなわち目的や目標に進んでいくことを表します。1年のスタートにあたり、改めて自分の志を再確認して大切な3学期を過ごしていきましょう。

「志」のもう一つの意味に、「相手を思う気持ち」があります。周囲の人に対しての感謝や大切に思う心です。社会生活、集団生活の中で私たちは生きています。人として生きていく中で、相手を思う、思いやる気持ち、感謝の気持ちはとても大切で、これからも「相手を思う気持ち」をしっかり持ち生活していきましょう。「志」の意味を思い出しながら、今年1年さらに成長できるよう努力していきましょう。

最後に、年が明けて、多くの皆さんは初詣に出かけたことと思います。私も元旦に烏帽子山八幡宮に初詣に出向き、特に3年生の志望校合格と全校生の健康・安全、そして、赤湯中の更なる発展を祈願しました。皆さん、今年の干支「辰」にあやかり、昇り龍のように、勢いよく活気あふれる年になるよう努力してください。

各学年代表の3学期の決意を一部抜粋して掲載します。

三学期の決意

一学年代表 佐藤 百華

私は気持ちも新たに、次のことを三学期頑張りたいです。まず、仲間とのより良い関わり方ができるようにしていくことです。私たち1学年は100人です。一人ひとり個性や考え方も違います。だから、自分だけではなく、仲間も楽しく学校生活を送れる過ごし方ができるようにするため、「考える」ことを大切にしていきたいです。

二つ目は、苦手な教科の学力を向上させることです。二学期の学年の振り返りでは、定期テストの学習が課題でもありました。そこで、授業に集中し、予習復習、毎日のテキスト学習を計画的に進めていきたいです。「やらされている」と思うのではなく、自分の将来のためになると考え、頑張っていきたいです。

三つ目は、当たり前のことを当たり前にするということです。場に応じた言葉遣いや、時間を守ることは、大人になっても大事なことだと思います。その第一歩が一学年の課題でもある「挨拶や返事」をすることだと思います。一人一人が当たり前にする習慣が身に付けば、さらにより学年になれると思います。当たり前の行動を意識しながら生活していきたいです。

四つ目は、部活動を頑張ることです。去年の大会ではあまり良い結果が出せず、悔しい思いをしました。次の地区総体に向けて、「上手になるには何が必要なのか」を考え、普段から練習を頑張っていきたいです。

今日から始まる三学期。学年目標である「努力夢現」の達成に向けて、仲間との関わり方、学力向上、当たり前の行動、部活動に全力投球していきます。



最高学年へ向けて

二代表 飯田 日翔

年が明け、今日から三学期です。私たち二年生は三年生からのバトンを引き継ぎ、赤中の先頭に立つ学年となりました。生徒会や部活動、日常生活の様々な場面で、後輩たちをリードしていかなければなりません。そのために私が力を入れていきたいことは二つあります。



一つ目は学習に積極的に取り組むことです。三学期からは二年生の学習のまとめを行う、テキスト学習が始まります。毎日の与えられた課題に取り組むことはもちろん、授業中に分からなかったところを先生に質問しに行き分るようしたり、自分の得意不得意を自覚し、苦手分野にも向き合ったりするなど、学習に対する意識をさらに高めていきたいです。二年生での学習が受験に出ることも多いと聞きました。日々の学習を面倒くささらず、おろそかにせず、来年度に向けて頑張っていきます。

二つ目は、当たり前なことを徹底することです。ルールやマナーをしっかりと守ったり、挨拶を元気よく行ったりすることで、生徒会活動や部活動にも必ずプラスになると思います。普段何気なく行っている「当たり前」を見直すことで、赤中の最高学年にふさわしい姿になれるように頑張っていきます。

今学期は最高学年へとつながる大切な学期です。三学期の間、私は自分で立てたこの二つの目標を達成できるように、精一杯頑張ります。そして、我々二年生の一人一人が最高学年になるのだという自覚を持ち、二学年一丸となって団結し、頑張っていきます。

この三学期に込める思いと決意

三代表 安藤 颯介

私たち三年生にとって中学校生活最後の学期がスタートしました。もうこの学校に居られるのもあと僅かとなりました。これまで、私たちは四年間におよんで生活を脅かしてきた新型コロナウイルスに振り回される日々を送ってきました。ですがその中で、私たちはこつこつ努力を続けた末、今三年生としてこの場にいます。その努力で得た力を発揮し、そして伸ばしていくために私は次の二つのことを頑張ります。



一つ目は勉強です。私はただ勉強するのではなく学習内容を見直し、着実に点数に結び付くような勉強をします。志望校に合格できるよう、今まで以上に努力を重ねていきます。

二つ目は音楽です。高校でも吹奏楽を続けるので、今の自分の音に自信が持てるよう技術向上ができるように練習を頑張ります。

進路激励会

12月20日(水)

に進路激励会を行いました。

新執行部が企画して行う初めての行事でしたが、3年生への感謝の気持ちを込めて準備し、当日を迎えました。消しゴムと大きな絵馬、応援を贈りました。3年生の皆さん、体調管理に留意し、これまでの学習の成果を十分に発揮してきてください。



PTA教育講演会

12月21日(木)に「家庭と学校をつなぐ教育の在り方～世界の国々の教育と日本の教育の現状から～」という演題で山形大学学術研究院准教授の中澤未美子先生にご講演いただきました。

①思春期の諸課題について②「教育」について③家庭と学校のできることにしてお話いただきました。準備していただいた、PTA研修部の皆様、ありがとうございました。



地域の方からのうれしいお電話

12月に配布した赤湯生き方まっすぐネットワーク通信に掲載されていた「年寄りに 元気届ける その一言」という標語を見て、ぜひ連絡しなければならぬと思い電話をしましたとのことでした。加えて、「登校時、女子生徒から元気にあいさつされるのが大変うれしい」とお話しされていました。

赤中五本柱のひとつに「あいさつ」を掲げ取り組んでいます。地域の一員として、地域を元気づけるあいさつを今後も心掛けて参ります。

